

助成者	熱田 典子	活動期間	2018年4月～2021年3月
所属機関	公益社団法人 アジア協会アジア友の会	職名	副事務局長

地震被災地へバイオガスプラント設置による森林及び環境保全と 環境教育による持続可能な地域づくりをめざした活動

【活動場所】ネパール シンドウパルチョーク郡 インドラワティ村

【事業目的】ネパールには化石資源がなく農村地域の主なエネルギーは薪であるため、森林破壊に歯止めがかからない状況にある。対応策としてバイオガスプラントを設置し、再生可能なエネルギー確保と環境保全活動を行う。また、子供たちに環境教育を実施し、未来につなげる力を育む活動を実施。

プラント設置講習会後の写真



【活動内容】

- ①バイオガスプラントの設置：3年間計60基設置
- ②バイオガスプラント使用セミナーの開催：通算10回 196名参加
- ③子ども向け環境セミナーの開催：通算12日 48名参加
- ④環境保全テキストの作成：200部作成し3学校へ配布
- ⑤植林活動および清掃活動：植林は4回130名参加、清掃活動5回

【活動成果】

バイオガスプラント設置により、年間CO2排出量320トン、薪使用量25.6万Kg削減。コロナで移動制限が続いた中で、改めて自家生産可能なエネルギーの効果が見直されている。設置家族においては、廃棄されるものからエネルギーと肥料の製造ができる、方法を変えて活かせば暮らしに有益に活用できることがわかり、再生可能エネルギーの活用が地域の環境保全に繋がることへの理解が深まった。子どもへの環境教育については、コロナにより最終年度の纏めの部分が未実施に終わった。2年間で学んだものが今後地域で活かされていよう、フォローされることを期待する。



バイオガスミキシングタンク